

**兵庫県芦屋市
個別施設計画
(長寿命化修繕計画)の概要
定期点検結果の概要
【門型標識等】**

**令和7年3月
芦屋市 都市政策部
都市基盤室 基盤整備課**

目 次

1. 門型標識等長寿命化修繕計画の目的	1
2. 対象施設	1
3. 芦屋市の管理理念	2
4. 門型標識等点検	3
5. 計画策定による効果	4
6. 費用の縮減に関する具体的な方針	4
7. 門型標識等の点検結果	4
8. 担当部署	4

1. 門型標識等長寿命化修繕計画の目的

芦屋市では、1箇所の門型標識、2箇所の道路情報提供装置を管理しています。

これまで、道路利用者の安全を維持するため、道路パトロールの実施等を行ってきましたが、今後はこれら日常的な巡視に加え、定期点検による状況の把握とあわせ、適切な点検による維持管理を実施する必要があります。

そのため、門型標識及び道路情報提供装置（以下、「門型標識等」という。）長寿命化修繕計画を策定し、PDCAサイクルによる効率的で効果的な維持管理を実施することを目的に門型標識等長寿命化修繕計画を策定します。

2. 対象施設

芦屋市が管理する門型標識等は下記の3箇所です。

施設名	門型標識	現況写真
路線名	市道 216 号線	
建設年次	平成 17 (2005) 年	
所在地	芦屋市浜芦屋町	
道路幅員	9.3m	

施設名	道路情報提供装置（起点側）	現況写真
路線名	市道 184 号線	
建設年次	平成 10 (1998) 年	
所在地	芦屋市大原町	
道路幅員	18.4m	

施設名	道路情報提供装置（終点側）	現況写真
路線名	市道 184 号線	
建設年次	平成 10 (1998) 年	
所在地	芦屋市大原町	
道路幅員	18.4m	

3. 芦屋市の管理理念

○芦屋市では、次の管理理念のもと「門型標識等長寿命化修繕計画」の策定及び管理を行います。

1. 基本理念(基本姿勢)

安心・安全に利用でき信頼できる道路施設の確保
～効率的な予防保全への取組みをめざして～

2. 方針(進める際のルール)

- (1) 定期点検や補修対策を適切に実施するとともに、状況に応じた速やかな緊急対策を行い、門型標識等の安全性を確保します。
- (2) 長寿命化を図るとともに、維持管理の効率化を図ることで、ライフサイクルコスト^{※1}を抑制します。
- (3) PDCAサイクル^{※2}により、常に見直しを図り、個々の門型標識等の安全性を確保するとともに、より効率的な修繕計画の実現を図ります。

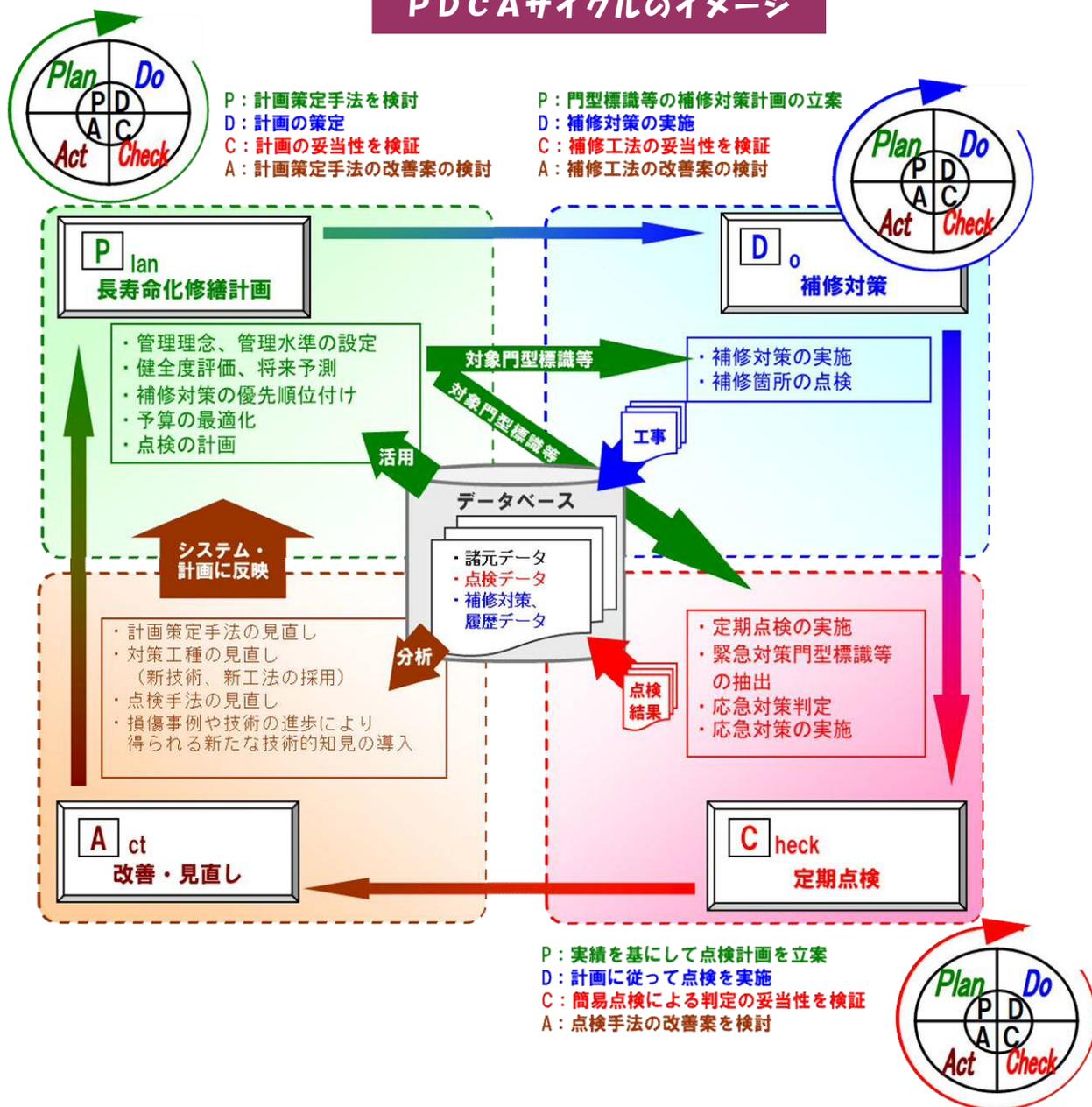
※1 ライフサイクルコスト：構造物を計画・設計・施工し、その構造物を維持管理して、最後に解体・処分するまでの構造物の全生涯に要する費用の総額のことをいいます。

※2 PDCA サイクル：Plan(計画)→Do(実行)→Check(評価)→Act(改善)の4段階を順に繰り返すことによって、業務を継続的に改善していくマネジメント(管理)手法の一つです。

3. 戦略(具体の進め方)

- (1) 定期点検を着実に実施します。
- (2) 深刻な損傷が発見された場合には、速やかに必要な緊急対策を実施します。
- (3) 計画的な補修対策を実施します。
- (4) データベース整備による施設管理データの有効活用を行います。
- (5) 適宜「門型標識等長寿命化修繕計画」の見直しを行います。
- (6) 新たな知見を踏まえた継続的な改善を図ります。

PDCAサイクルのイメージ



4. 門型標識等点検

○計画的な維持管理を行っていくためには、門型標識等の状況を把握することが重要となります。そのために、通常点検と定期点検により門型標識等の健全状態を把握していきます。また、地震や台風などの自然災害時には、異常時点検を行います。

通常点検

道路パトロールとして通常、目視によって実施します。

定期点検

定期点検については、基本的に5年に1回、「シールド、大型カルバート等定期点検要領（国土交通省道路局）」により実施します。

異常時点検

地震、台風、豪雨等により災害が発生した場合もしくは、その恐れがある場合と異常が発見されたとき、主に門型標識等の安全性を確認するため点検を実施します。

5. 計画策定による効果

○これまでの対症療法的な対応では、莫大な費用が集中して必要となるのに対し、門型標識等長寿命化修繕計画に基づいた計画的な対応を行うことで、平準化され、計画的な予算執行が可能となります。

6. 費用の縮減に関する具体的な方針

○人手不足や増大する維持管理費といった問題に対応するため、「質の向上」及び「プロセスの効率化」の観点に基づき計画・調査・点検・補修工事といった門型標識等の維持管理における各段階において、新技術情報提供システム（NETIS）や点検支援技術性能カタログ（案）などの資料を参考に業務の高度化・効率化のため新技術の導入を検討及び実施します。

○社会情勢や行政及び地域の将来計画、門型標識等の利用状況や健全性など総合的に勘案して、集約化・撤去について検討を行い、維持管理費用の縮減を推進します。

7. 門型標識等の点検結果

○門型標識等の点検結果は以下のとおりです。

番号	施設名	路線名	所在地	幅員 (m)	供用年	経過年	点検 年度	健全性※
						2024年 時点		
1	門型標識	市道216号線	浜芦屋町	9.3	2005	19	R5年度 (2023年度)	III
2	道路情報提供装置（起点側）	市道184号線	大原町	18.4	1998	26	R5年度 (2023年度)	II
3	道路情報提供装置（終点側）	市道184号線	大原町	18.4	1998	26	R5年度 (2023年度)	II

※健全性の判定区分

門型標識等の健全性の診断は、下記の判定区分により行っています。

損傷 小 ↑ ↓ 損傷 大	区 分	状 態
	I	健 全
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

○点検の結果の概要

- ・緊急措置段階（区分Ⅳ）の門型標識等はありませんでした。
- ・早期措置段階（区分Ⅲ）の門型標識等は1基ありますが、令和7年度に対策に着手します。

8. 担当部署

○兵庫県 芦屋市 都市政策部 都市基盤室 基盤整備課
TEL：0797-38-2116